

福井大学学術交流協定校への派遣留学(交換留学)月例報告書 (4月分)

留学先大学: Chulalongkorn University

氏名: 井口 健

信じられないスピードで毎日が進んでいき、あっという間に4月も終わって帰国まで残り1ヶ月となりました。「残り2ヶ月やー」って言っていた4月初旬も昨日のことに感じます。帰りたくないなあと帰国日をビクビクしながら待つのではなく、残り1ヶ月を最高に濃く充実したものにして、帰国日にやりきった満足感とともに日本に帰れるように頑張ろうと最近は思っています。と言ったものの、今月も勉強そこに元気に遊んでしまったので何を書けば良いか分からないのですが。

<Food and Culture の授業>

学生10人だけのクラスなので他の授業よりも比較的教授と話す機会が多いと思います。Foodという一つのテーマを、文化、歴史、グローバル展開、マーケット戦略、消費者行動など様々視点から学び、普段自分がなにげなく消費しているものもこれだけ多くの見方ができるのかと驚きます。特に授業でよく扱うものとしては日本食があります。バンコクでは街を歩けば至るところに日本食レストランがあり、屋台やフードコートはタイ料理が主流ですが、レストランなどの店舗だったら圧倒的に日本食が多いような気がします。授業のトピックがSushiやRamenの週もあり、日本食のタイだけでなく世界でのプレゼンスの高さ、そしてそれに伴うソフトパワーもかなり大きいことを実感しました。また、最近教室だけでなく大学近くの市場やスーパーマーケットに行き行ってインタビューや商品、陳列などの調査をして比較するという実践的な取り組みも行なっています。

<ソンクラーン>

今月は待ちに待ったタイでの水かけ祭り「ソンクラーン」がありました。4月13日から15日はタイの旧正月にあたります。元々は仏像や仏塔に水をかけてお清めをしたり、両親や目上の人の手に水をかけて敬意を表したりする行事が起原と言われています。それが今ではデカイ水鉄砲を持って街にくり出し、見ず知らずの人と水を掛け合うというイベントになっているのでかなりの変化を遂げているなど感激しました。ちな

みに水鉄砲を使って大騒ぎできる場所はしっかり決まっていますが、街では普通に屋台のおばちゃんが近づいてきてオケで肩に水をかけてくることもあり、このような時はお清めの意味もあるので断ってはいけなと聞きました。私もイベントに向かう途中でこのパターンで一度かけられてありがたい気持ちになりました。

チュラの友達はほとんどこの時期は帰省をしていたり旅行に行っており、1日目は3月のフードツアーのイベントで出会ったアサンプション大のカンボジア人とその友達のドイツ人、共通の知り合いだったタイの友達、日本人の友達のかなり多国籍な軍団でこの時期バンコク最大規模と言われる音楽イベントに行ってきました。音と光、そして上からは水が降ってきてよく分からない状況でしたが、とりあえず楽しかったということだけは覚えています。2日目は福井大学に留学していた UTCC の友達が誘ってくれてみんなで水鉄砲を買って街の人たちと掛け合い、夜はまた別の音楽イベントに行ってお楽しみました。日本にいた時の留学生の友達がこうして誘ってくれて本当に嬉しく感じるとともに、自分が日本にいるときはどれだけのことを留学生にしてあげられたらろうと考えさせられました。日本に帰ったら自分がこのタイで受けたたくさんの優しさを今度は他の留学生に返したいと思う日々です。

<写真で振り返る 4月>



留学初期から仲良くしてもらっているタイの友達。大自然で有名なカンチャナブリー県に遊びに行きました。タイと違って日本は全ての県に観光名所があるのがすごいねと言われたのが印象的でした。8月に日本に遊びに来るらしいので楽しみ！



福井大学に留学していた台湾からの留学生、純ちゃんがトランジットでバンコクに来ました！台湾と日本を行き来して活躍しているようでとてもかっこよかったです。次は台湾で会いたい！



最近仲良くしてもらっているタイのお姉さん方。制服のせいもあり全員中学生と言われても違和感はありませんが、今期がラストセメスターの法学部の4年生です。おでこにシールを貼ると勉強の集中力が上がるらしい。笑